

全力で挑戦する。

宮内町政

平成 28 年度

施政方針・当初予算

3月定例議会で宮内町長が平成 28 年度の施政方針を発表。施政方針には、1年間をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。今回は、その概要と平成 28 年度予算を宮内町長に尋ねました。
問い合わせ 総務課へ



観光協会と連携し、観光情報の発信や観光客の誘致など、交流人口の増加を図ります。また、4月1日から観光ステーション北斗七星の管理運営の効率化と充実を図るため、指定管理者制度を導入し、観光協会に運営を委託しています。

観光ステーション北斗七星を拠点とした観光推進



町の魅力の一つである「水」のブランド化に向けて、水齢・成分の調査を進めます。また「おいしい水」を定住促進のプロモーションなどと連動し、効果的にPRします。

水ブランド化検討事業

住みよさブランドの確立



住民が夢や希望を持てる まちづくりを目指して。

宮内町長が目指す
まちは

「岡垣町にしかない良さを活かし、夢や希望を持てるまちを目指しています」

町は「第5次総合計画」で「住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元気なまち 岡垣」という基本理念を掲げています。この理念に基づき、地方創生や一億総活躍社会の実現に向けた国の政策に対応

しながらも、町の良さを活かし、夢や希望を持てるまちづくりに全力で挑戦します。

第5次総合計画後期基本計画のスタートの年としてどのような事業を行うの？

「住みよい町の確立や人々の絆をつなげる事業に取り組みます」

平成28年度は、第5次総合計画後期基本計画がスタートする年であるとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略に

掲げる取り組みを移行に移す年でもあります。人口減少社会を迎える中で、「住みよさブランドの確立」や「町を愛する人を育て、絆をつなげ・広げること」に視点を置いた取り組みを進めていきます。

具体的にはどのようなまちづくりを行うの？

「住みたいと選ばれるまちづくり」「住み続けたいと思えるまちづくり」を進めます

豊かな自然や地下水など、町の魅力を活かしたイメージや認知度の向上、中学校での英語教育の充実、待機児童の解消に向けた取り組みなどを行います。さらに、速やかな情報伝達や長年の課題だった有線放送施設の老朽化などにも対応する無線システムの整備にも取り組めます。

町を愛する人を育て、絆をつなげ・広げる

英語教育改革の推進



岡垣町ふるさと大使の安河内哲也さんを英語教育アドバイザーに迎え、英語教育改革の先進的モデルとなるような中学校の英語教育を総合的に推進します。生徒への音声CDの配布や外国語指導助手の増員などを行います。

地域情報伝達無線システムの整備

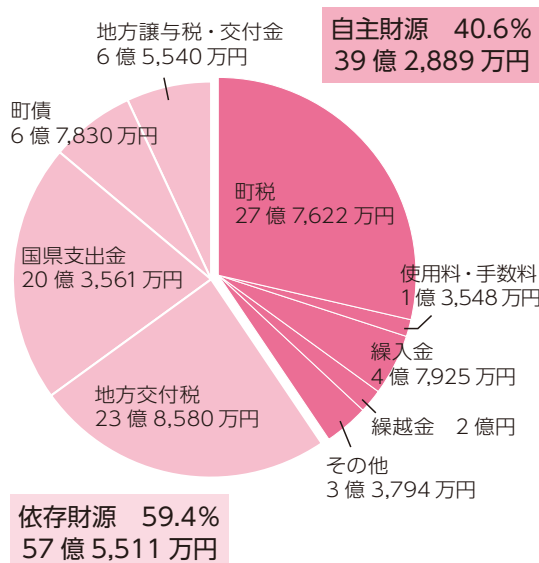


緊急時の情報伝達をスムーズにし、安全安心なまちづくりを行うため、防災・地域情報などを各世帯が無線方式で受信できるシステムを、平成31年度までに導入する予定です。そのための基地局などの整備を行います。

前年度予算から6千700万円（0.7パーセント）増加

96億の予算でいざ発進

歳入



【主な増減の内訳】

町税 固定資産税の評価替えによる実績などから前年度より4千594万円（1.7パーセント）増加しています。

地方譲与税・交付金

地方消費税交付金が4億8千万円で前年度より7千140万円（17.5パーセント）増加しています。平成26年4月からの消費税率引上げ分は、子ども

医療費などの社会保障財源として活用します。

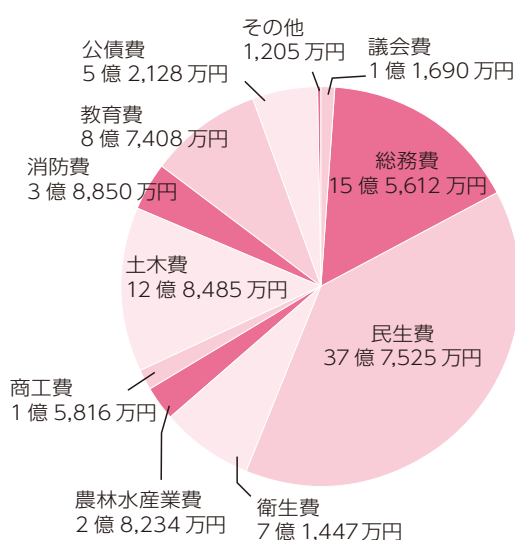
地方交付税

国の計画や平成27年度の状況を踏まえて、前年度より2千244万円（1.0パーセント）増加しています。

国庫支出金

地域情報伝達無線システム整備の補助金が新たに交付されることなどから前年度より1億493万円（8.3パーセント）増加しています。

歳出



【主な増減の内訳】

総務費 地域情報伝達無線システムの整備に係る経費が7千23万円増加しています。しかし、職員の退職手当や庁舎などの施設整備に係る経費などが減少したことから前年度より6千90万円（4.3パーセント）減少しています。

土木費 海老津白谷線道路工事や自由通路工事などの海老津駅周辺環境プロジェクトに係る経費が減少したことから、前年度より1億451万円（7.5パーセント）減少しています。

民生費 障害者への自立支援サービスや民間保育

所の建て替え補助などの経費が増加したことから、前年度より2億8千139万円（8.1パーセント）増加しています。

その他の会計

会計名	予算額
国民健康保険事業	44億4,662万円
後期高齢者医療	5億4,265万円
住宅新築資金等貸付事業	79万円

会計名	予算額	
水道事業	収益的収入	5億1,730万円
	収益的支出	5億460万円
	資本的収入	1億6,562万円
	資本的支出	3億6,848万円
下水道事業	収益的収入	10億845万円
	収益的支出	9億2,939万円
	資本的収入	5億7,711万円
	資本的支出	9億8,025万円





町の将来像の 実現に向けて

第5次総合計画で掲げている「輝き」「安全安心」「心の豊かさ」の3つの将来像ごとに、主な取り組みを紹介します。



森林保全対策

1,278 万円

海老津地域内の町有林の整備や森林保全団体への支援、金比羅山の整備に取り組みます。

三里松原の保全は、松葉かきや松の植樹など継続した取り組みに加え、松保護士資格の取得を支援します。また、松枯れ対策として薬剤の樹幹注入を行います。

輝き

自然の恵みを守り
活かし輝くまち



漁業振興

1,960 万円

根付け漁業の充実に向けたアワビの放流数の拡大や保冷車の購入補助など、漁業経営を支援します。また、波津漁港施設の長寿命化に向けた調査などを行う「漁港施設機能保全計画」の策定を進めます。



有害鳥獣対策

267 万円

イノシシなどが田畑や住宅地などに侵入し、農作物や人々の生活環境に与える被害を防ぐため、対策を強化します。具体的には、狩猟免許の取得を補助するなど、有害鳥獣狩猟者の育成を支援します。



豊かな自然を愛し、環境と共生するまちをつくります

- ・水ブランド化の検討 324 万円
- ・資源ごみ、生ごみの回収奨励など 762 万円
- ・浄化槽設置の補助 961 万円
- ・住宅用新エネルギー設備などの設置補助 580 万円

地の恵み・地の利を活かした活力ある産業を育てます

- ・就農者の支援 930 万円
- ・ため池の整備 1,680 万円
- ・プレミアム商品券の発行 1,000 万円
- ・企業誘致の推進 613 万円
- ・観光振興 4,506 万円

安全 安心

みんなが安全で安心して暮らせるまち

みんなが安全で快適に暮らせるまちをつくります

- ・空き家対策 153万円
- ・道路環境整備 2億4,867万円
- ・いこいの里の管理運営 8,223万円

みんなが健やかで安心して暮らせるまちをつくります

- ・自立支援サービスの実施 5億1,700万円
- ・介護保険事業の実施 4億3,739万円



- ・地域情報伝達無線システムの整備 8,255万円
- ・消費生活対策の充実 293万円

定住促進対策

3,031万円

定住奨励金などの交付や転入者に町の魅力であるくだものなどをプレゼントするウェルカムキャンペーン事業を引き続き行います。また、首都圏での定住イベントなどを通して町外への情報発信を行い、定住人口増加の取り組みを進めます。



海老津駅周辺 環境プロジェクト

3億3,810万円

平成23年度から行っている海老津白谷線道路工事、自由通路工事、駅南側広場工事が最終年度を迎えるため、完成に向け、整備を進めます。あわせて岡垣交番の駅前への移転を進めます。

高齢者の安全安心の確保

577万円

高齢者の自動車運転免許証自主返納支援制度を導入します。また、高齢者の自宅の緊急通報システムを消防直通方式からコールセンター方式に移行します。これまでの救急対応のほか、日ごろから高齢者の見守りや健康相談を通して、安全な暮らしを支えます。



おかがき応援寄附金事業の推進

150万円



町の地域特性を生かした四季の特産品やサーフィンなど、自然を体験できる返礼品で町の魅力をPRします。また、これまで寄せられた寄附金の一部で小学校の総合学習副読本を作成します。



保育事業の充実

4 億 5,956 万円

小規模保育施設、事業所内保育施設の設置を支援し、入所できる定員数を増やして待機児童の解消を図ります。また、東部保育所の建て替えに対し補助を行うなど、さまざまな子育て支援を行います。

豊心 かの さ

地域を愛し、心豊かな人が育つまち



こども未来館の運営

3,104 万円

子育て相談や一時保育、放課後に訪れる児童の育成支援などを継続して行います。また、一時保育は、兄弟・姉妹が同時に利用するときの利用料を軽減し、利用しやすい環境づくりを行います。



子どもたちが安心して学び、心豊かに育つまちをつくれます

- ・ 児童自然体験学習の実施など 171 万円
- ・ 子ども医療費の支援 1 億 3,204 万円
- ・ 中学校英語教育の推進 1,479 万円



岡垣サンリーアイの管理運営など

3 億 1,344 万円

文化講座や文化事業を引き続き行い、住民が学びを深める生涯学習活動を支援します。また、省エネ省資源化のため照明をLED化するなど、施設の整備を行います。

地域に誇りを持ち、個性あふれる人材を育てます

- ・ 体育施設等の維持・整備など 1,254 万円
- ・ 公民館講座の実施 461 万円
- ・ 国際交流事業の支援 950 万円
- ・ 人権及び男女共同参画の取り組み 403 万円

計画の推進

- ・ 広報の発行など 802 万円
- ・ 岡垣町のPR 308 万円
- ・ 職員の研修 239 万円
- ・ 公共施設等総合管理計画の策定 943 万円

コミュニティ活動の支援

2,606 万円

自治区や校区コミュニティをはじめとする各種コミュニティ活動を充実させるため、各団体を地域づくり交付金などで支援します。各団体と連携し、地域の課題解決に取り組めます。

